

## 「中江藤樹・たかしまミュージアム」

## オープニング展示決定！

オープニング展示  
「継体大王出生の地」

今年の6月に新しくオープンする「中江藤樹・たかしまミュージアム」は、中江藤樹と高島市の歴史文化を紹介する施設です。

市の歴史文化を紹介するエリアでは『高島市文化財保存活用地域計画』で定めている「高島5つのストーリー」を基に、高島市の豊かな歴史や文化の魅力をご紹介していきます。オープニングにあたる今回の展示はストーリーのひとつである「継体大王出生の地」を軸に高島市の歴史と文化を紹介します。

古代国家形成を目指した  
継体大王とその時代

奈良時代に成立した日本の歴史書『日本書紀』では継体大王が登場し、「高島郡三尾別業」で誕生したことが記されています。継体大王は古墳時

代後期（6世紀）に活躍した大王で、当時の社会情勢に大きく影響を及ぼした人物とされています。

市内には、継体大王の父、彦主人王のお墓とされる田中王塚古墳や胎盤などを埋めたと伝わる胞衣塚<sup>えなづか</sup>など、継体大王にゆかりのある場所が点在しています。鴨川右岸には、学術的にも著名な「鴨稻荷山古墳」が築かれ（写真1）、その被葬者は、継体大王を支持した人物であったと考えられ



写真1 鴨稻荷山古墳出土石棺

ています。

古墳時代後期の高島市は、滋賀県下でも早い段階で横穴式石室と呼ばれる埋葬施設が導入されているほか、県下で出土している4件の装飾付環頭大刀（写真2のうち、3件が市内で出土しています。継体大王は高島市域を重要視し、こよなく愛していたのかもしれません。

写真2 二子塚古墳  
出土三葉環頭大刀継体大王誕生前後の  
高島市

このように、ここ高島の地はたびたび日本史の表舞台に登場するなど、継体大王が活躍した古墳時代後期前後の展示に注目していただくと、高島市の歴史文化的な魅力の発見につながります。

## 一新の中江藤樹エリア

中江藤樹エリアでは、長く親しまれてきた中江藤樹を知る上で欠かせない資料の数々を、より分かりやすく解説し、藤樹と藤樹をめぐる人々が紡いできた高島のあゆみを新たな映像とともに紹介します。

さらに、開館を記念して、普段は非公開の肖像画「中江藤樹像」や中江藤樹筆「致良知三大字」の2点を、特別に展示します。

文化財課 ☎ (25) 85559

**編集 感覚** いよいよ国スポ・障スポの開催日が近づいてきました！滋賀県での開催は44年ぶりで、機運を高めようと、県内各地でイベントが開催されています。私は普段スポーツには疎い方ですが、昨年度のリハーサル大会で熱い試合を目の当たりにし、スポーツの良さを改めて感じました。関わり方には、試合を見たり、スポーツに触れてみたいいろいろな形があります。またとない機会ですので、みんなで盛り上げていきましょう！（S）



広報たかしま

令和7年

5

月号

No.304

発行▼高島市 編集▼政策部企画広報課  
〒490-0002 滋賀県高島市新旭町北畑のろ番地

☎ 0740(25)8000(代)  
https://www.city.takashima.lg.jp  
t-info@city.takashima.lg.jp